

オンライン企画

コロナ禍に考える「スポーツのチカラと難民アスリート」

スポーツが難民支援の現場で果たす役割とアスリートの声を紹介



右からディアナ・ピティティ氏、藤井里奈さん、野智子氏、瀬古利彦氏

2月23日、ソフィアオリンピック・パラリンピックプロジェクト、ソフィア会、国連難民高等弁務官(UHCHR)駐日事務所、国連UNHCR協会との共催によるオンライン企画「コロナ禍に考

「スポーツと難民保護」をテーマに基調講演を行った。ピティティ氏は、難民支援の現場では、スポーツが保護を必要とする難民への安全な場所の提供につながることも、共通言語として難民と受け入れ側の関係構築に貢献していることなどを説明。また、東京オリンピック・パラリンピックを目指すパネルディスカッション

「スポーツと難民保護」をテーマに基調講演を行った。ピティティ氏は、難民支援の現場では、スポーツが保護を必要とする難民への安全な場所の提供につながることも、共通言語として難民と受け入れ側の関係構築に貢献していることなどを説明。また、東京オリンピック・パラリンピックを目指すパネルディスカッション

では、難民キャンプを訪れた経験などを踏まえ、スポーツにどのような「チカラ」があり難民支援の現場でどのような役割を果たしているのか、日本から一人一人に何ができるのかなどについて、活発な議論が交わされた。

最後に、鳥居正男ソフィア会会長が「このイベントから私たちにできることを考えていきたい。日本から支援の輪が広がっていくことを願っている」と述べ、イベントを締めくくった。

このイベントのアーカイブは「こちら」から。 <https://youtube/9t8-Mess5-sIO>



ヴァナディア・ユッサラさん



原田明里さん

1月27日、2020年度女性研究者グローバル育成奨励賞の授与式が、上智学院ダイバーシティ推進室により行われた。例年は5月に実施しているが、コロナ禍により時期をずらしオンラインで

本学は、09年に文部科学省の女性研究者支援モデル育成事業に採択され、「グローバル社会に

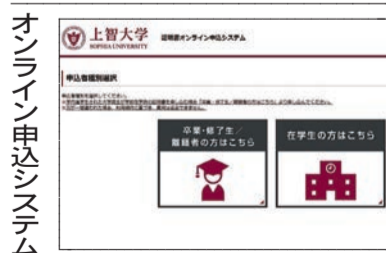
女性研究者グローバル育成奨励賞

国際的に活躍する女性研究者に支援

2) 関根ありさ(情報学領域博前2) ヴァナディア・ユッサラ(グリーンサイエンス・エンジニアリング領域博前2) 原田明里(生物科学領域博後2) マリア・アントニエッタ・カスツリ(グリーンサイエンス・エンジニアリング領域博後2) エリザベス・ザイラ(グリーンサイエンス・エンジニアリング領域博後3) 北有紗(応用化学領域博前2) 石井優奈(情報学領域博前) 開始した。

オンラインでの証明書の発行が運用開始

クレジットカードで決済



これは株式会社エフレジが提供する、インターネット上での証明書発行受付を行うためのサービス。証明書申請者は、FREGIの大学専用サイトで証明書の発行を申請し、クレジットカードで手数料を支払う。その後、大学にて証明書を発行し、指定の住所に郵送するもの。利用者は、発行手数料、郵送料に加え、システム利用料300円を負担する。

卒業生からは、インターネット上での申し込みに関する要望が多寄せられていた。特に、海外からの申請については、これまで郵送のみで申し込みを受け付けていたが、申し込みから証明書受領までに時間がかかること、加えて国際郵便費が廃止となったことから、インターネット上で申し込みと支払いが完結する制度の導入が早急に必要なこと。利用時は免許証などの本人確認書類の添付が必須となる。

証明書の発行については「こちら」から。 <https://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/risyu/shomesho/index.html>



2021年度一般選抜入試

大学入学共通テストを導入して3方式で実施

2021年度学部一般入試が、2月3日(神・心理・看護学科は15日に2次試験を実施)。

新たに大学入学共通テスト(旧大学入試センター試験)を活用する方式を採用し、「TEAPスコア利用型」「学部学科試験・共通テスト併用型」「共通テスト利用型」の3方式に制度が改められた。また、いずれの方

部試験を活用することから、国際教養学部を除くすべての学部・学科で全方式を実施した。3日に実施した「TEAPスコア利用型」は、TEAPを事前に受験し、学部学科ごとに必要な教科・科目を受験可能な方式を併用できる。全学統一日程入試方式。TEAPスコアは昨年度までは出願資格として利

用していたが、今回から英語の得点として利用することに変わった。募集定員634人に対し、志願者は延べ5412人であった。4日以降は、大学入学共通テストと本学独自の学部学科試験の結果で総合的に合否判定を行う「学部学科試験・共通テスト併用型」を実施。募集定員982人に対し、志願者は1万5435人であった。午前午後で実施学部を分けるなど、かつてなかった実施形態が導入された。

大学入学共通テストの合否判定を行う「共通テスト利用型」は、募集定員114人に対し、志願者は5423人であった。全方式の志願者数合計は2万6270人となり、昨年度より14人の増加となった。合格者数(補欠入学許可者数を含まない)は、全学科合計3750人(昨年は3726人)で、補欠者には補欠順位を付けて通知された。

なお、補欠入学許可者数を含めた最終合格者数などの試験実施に係る統計データは、5月発行予定の「入学試験資料」や本学Webサイトなどで公開する予定。



昨年度より114人の増加式においても外国語外

用していたが、今回から英語の得点として利用することに変わった。募集定員634人に対し、志願者は延べ5412人であった。4日以降は、大学入学共通テストと本学独自の学部学科試験の結果で総合的に合否判定を行う「学部学科試験・共通テスト併用型」を実施。募集定員982人に対し、志願者は1万5435人であった。午前午後で実施学部を分けるなど、かつてなかった実施形態が導入された。

大学入学共通テストの合否判定を行う「共通テスト利用型」は、募集定員114人に対し、志願者は5423人であった。全方式の志願者数合計は2万6270人となり、昨年度より14人の増加となった。合格者数(補欠入学許可者数を含まない)は、全学科合計3750人(昨年は3726人)で、補欠者には補欠順位を付けて通知された。

なお、補欠入学許可者数を含めた最終合格者数などの試験実施に係る統計データは、5月発行予定の「入学試験資料」や本学Webサイトなどで公開する予定。

受賞・採択

■電気学会全国大会優秀論文発表賞(受賞日:3月10日) 市川 湧希(理工学専攻電気・電子工学領域)



■アメリカ物理学会Outstanding Reviews(受賞日:2月25日) 大槻東巳教授(機能創造理工学科)



3月10日と12日に、2020年度1年生および編入生を対象としたセミナー「図書館の使い方」

図書館の使い方 資料の探し方

～2年生の学びに向けて～



資料の探し方、2年生の学びに向けて、中央図書館にて開催された。本セミナーは、1年生が情報収集および図書館利用の機会が増える新年を前に、職員が学生の取り組みを支援した。参加学生は会話をしながら学べるラーニング・コモンズに集まり、各階を移動して、雑誌や新聞を閲覧して新しい研究に触れたり、その情報をもとにコンピュータリウムで論文や書籍を検索し、実際に手に取ったりと、施設を活用しながら図書資料の探し方を体験した。学生同士が互いに語

新型コロナウイルス流行に伴う大学の対応について
新型コロナウイルスが依然として世界各地で流行しています。本学でも新型コロナウイルス対策本部を設置し、学生・教職員の健康と安全を守り、また、流行を抑制する社会的な責任を果たすため、さまざまな対策を講じています。大学からの情報は、本学公式ウェブサイトに掲載しています。大学の対応、諸日程や施設利用の変更など、常に最新の情報をご確認ください。また、学生の皆さんはLoyolaや電子メールを定期的に確認し、授業や学生生活に関する最新情報を得るように心掛けてください。

図書館では、「解説の図書館に実際に館内を回る」に役立つ各種講習会を予定している。

「解説の図書館に実際に館内を回る」に役立つ各種講習会を予定している。

「解説の図書館に実際に館内を回る」に役立つ各種講習会を予定している。

◆大学からの情報は、以下URLに掲載しています。
https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/2020_coronavirus.html

